

地域移行・在宅支援部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

| | |
|------|---|
| 開催日時 | <p>部会5回（精神WG3回・拠点WG2回）</p> <p>◆精神WG：第1回令和7年7月31日（木）・第2回令和7年10月20日（月） 第4回令和8年2月3日（火）</p> <p>◆拠点WG：第3回令和7年10月20日（月）・第5回令和8年2月3日（火）</p> |
| 出席機関 | <p>【精神WG】あおぞら家族会・江田島市心身障がい児者家族会・SELP江能保護者会・島の病院おおたに・吉田病院・ホームヘルパーセンター江能・江田島市社協訪問介護事業所・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課・自立支援センターあおぞら・パラレル・サンライズ柿浦・サンライズ大君・グループホームオリーブ・保証人代行サービスイマココ・広島県西部保健所呉支所・江田島市保健医療課・江田島市地域包括支援センター</p> <p>【拠点WG】特別養護老人ホーム江能・倉橋の里・江能福祉会 就労・地域生活支援課・パラレル・サンライズ柿浦・サンライズ大君・グループホームオリーブ・吉田病院・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課・自立支援センターあおぞら</p> <p>【事務局】江田島市社会福祉課・江田島市障害者生活支援センター・相談支援事業所ユウカリ・障害者相談支援事業所江能</p> |
| 活動内容 | <p>1 部会の開催について</p> <p>今年度も地域移行・在宅支援部会では、2部構成で、①精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた部会3回と②地域生活支援拠点事業の部会2回の計5回の会議を行った。</p> <p>2 精神等ワーキンググループ【第1回・第3回・第4回】</p> <p>(1) 事業所紹介</p> <p>ア 広島県地域生活定着支援センター（センター長より） パンフレットを基にセンターの目的・業務内容・支援対象者・支援の流れを説明した。</p> <p>イ 合同会社ZAIENN 訪問介護ステーションゆかり（管理者より） 令和8年1月から事業を開始した。スタッフは、6名・担当地域は、江田島全域と呉市音戸町です。今後、障害の需要があれば指定を検討したい。</p> <p>(2) 事例検討</p> <p>ア 広島県地域生活定着支援センター（担当職員から） 知的・精神障害のある方の出所後の住居及び生活支援について</p> <p>イ 江田島市障害者生活支援センター（担当職員から） 精神障害のある方が、母親の死亡後、一人暮らしになり、医療と連携後、在宅での生活を再開したケース</p> <p>ウ 広島県西部保健所呉支所（担当職員から） 精神科病院へ入院し退院後の支援をしたケースについて 精神科病院への措置入院をした場合の退院後支援について、「広島県精神障害者の退院後支援ガイドラインのイメージ」を基に入院時から本人への同意があれば保健所による退院後支援に関する流れを説明した。</p> |

(3) 移動支援について

ア 第1回グループワークの内容 (別紙)

移動支援・ヘルパー・住居・その他について意見交流をした。

令和6年12月現在において、広島県交通助成制度について調べた結果、江田島市だけ、交通助成がないことが分かった。

⇒障害者に対して 例：タクシー券の発行・月1,000円×12か月
など何らかの交通助成が検討できないか

イ 江田島市内での移動支援の体制について

○沖たすけあい交通について (実証運行)

運行期間：令和7年11月4日～令和8年1月31日

運行地域：沖地区全域

対象者：沖地区にお住まいの方

利用について：自宅から目的地・移動は沖地区内

利用申請⇒事務局⇒手配(調整)⇒当日

60運行(往復45・行き8・帰り7)

延べ86人(19人)

病院受診16件・JA・お寺・市民センター

今後について：沖地区以外の需要があるのか？運営していくための財源や料金・ボランティアへの対応など検討していく。

○宮ノ原まちづくり協議会 移動支援について

宮ノ原隣保館が中心となり、令和7年6月から社会福祉法人誠心福祉会が協力して「移動支援サービス」を開始。

令和7年12月18日より、津久茂まちづくり協議会も参加している。

現在、大幸まちづくり協議会(大須地区・幸ノ浦地区)は調整中。

運行地域：宮ノ原・津久茂⇒イズミ・藤三

対象者：買い物が難しい方・年齢制限なし・高齢者優先・障害など配慮が必要な方は、申し込み時に相談してもらう。

利用について：往復1回100円

今後について：江田島市全域に支援が広がればと思っている。

○大柿地区「移動支援サービス」について

大柿厚生文化センターが、大柿地区買い物支援サービスについて、江能福祉会 brunch の協力を得ながら、今後開始に向けて「まちづくり協議会」と調整していく予定。

ウ その他(江田島市包括支援センターより)

「移動支援サービス」については、運営会議において、まちづくり協議会代表の方が課題に対して進めている。江田島市からの補助金や空き時間のスクールバスの運用など検討している。

3 地域生活支援拠点ワーキンググループ【第3回・第5回】

(1) 地域生活支援拠点整備事業の運用について(令和8年1月31日現在)

ア 相談支援事業所の状況

○緊急時対応

| | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年1月 | 備考 |
|-------|------|------|--------|----------|
| 社協 | 0 | 0 | 0 | |
| 江能福祉会 | 0 | 0 | 0 | |
| 誠心園 | | 0 | 0 | 令和6年7月開所 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | |

イ 短期入所利用状況及びGH入居・施設入居状況について

| | 短期入所 支給決定数 | 短期入所 利用者数 | GH入居者 数 | 施設入所者数 |
|-------|---------------|--------------|------------|--------|
| 社協 | 15 (8) | 10 (5) | 11 | 0 |
| 江能福祉会 | 34 (5) | 22 (3) | 24 | 2 |
| 誠心園 | 1 (1) | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 50 (14) | 28 | 35 | 2 |

※ () 児童数

ウ 江田島市障害者生活支援センター

短期入所利用者については、家族のレスパイトや障害児では、外泊訓練のための利用がある。

グループホームへの入居訓練での利用を勧めても、家族の拒否があるなど課題がある。

エ 障害者相談支援事業所江能

緊急時への対応は、家族の親族の葬儀が市外であるため急遽、短期入所の利用があったが、既に短期入所の利用もあり、グループホームでの受け入れも可能であったため、緊急時扱いとしていない。

短期入所の支給決定量は増えている。障害児では、母親の仕事の都合や緊急時に対応の決定である。グループホームへの入退所や施設入所への移行などもあった。

相談では、居宅介護支援事業所と連携するケースが増えている。また、医療系と連携するケースも増えている。

オ 相談支援事業所ユーカリ

短期入所は、児童の支給決定ではあるが利用には至っていない。
相談としては、児童の療育が多い。

(2) グループホームの現状について

ア 社会福祉法人江能福祉会

| | 類型 | 定員 | | 入居数 | 短期 | 短期契約数 | |
|----|-----|----|---|-----|------|-------|-------|
| | | | | | | 9月30日 | 1月31日 |
| 本館 | 包括型 | 男 | 5 | 4 | | | |
| | | 女 | 5 | 5 | | | |
| 新館 | 包括型 | 男 | 5 | 3 | 空所型1 | 7 | 7 |
| | | 女 | 5 | 4 | 空所型1 | 9 | 10 |

※2月2日付で新館に男性が入居した。

※2月中旬に本館に男性の見学予定がある。

イ 株式会社太陽 サンライズ

| | 類型 | 定員 | | 入居数 | 短期 | 短期契約数 | |
|----|-------|-----|---|-----|----|-----------|-----------|
| | | | | | | 9月30日 | 1月31日 |
| 大君 | 包括型 | 男1階 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | | 男2階 | 5 | 3 | 0 | 0 | 1 |
| 柿浦 | 日中支援型 | 男1階 | 6 | 5 | 1 | 15 (8) | 14 (7) |
| | | 女2階 | 6 | 3 | 1 | 12 (4) | 11 (4) |

※大君：8月から空所型短期入所を開所したが、なかなか利用にはつながっていない。2階に3月から入居予定。

※柿浦：短期入所は、呉市以外の熊野町などからの利用もある。

(3) 株式会社歩歩 共同生活援助パラレル

| | 類型 | 定員 | | 入居数 | 短期 | 短期利用契約数 | |
|------|-------|-----|---|-----|----|-----------|-----------|
| | | | | | | 9月30日 | 1月30日 |
| パラレル | 日中支援型 | 男1階 | 7 | 6 | 1 | 9 (3) | 10 (4) |
| | | 女2階 | 7 | 3 | 4 | 11 (2) | 12 (2) |

※女性入居者については、退所1名あり、入居1名あった。
児童短期利用者は、定期的に利用している人である。

(4) 日中サービス支援型共同生活援助・評価シートについて
ア 評価スケジュールについて

| 月 | 自立支援協議会 | 事業所 | 備考 |
|-----|-------------------------------------|-----------------------------|---------|
| 10月 | 部会で説明 | | |
| 11月 | | | |
| 12月 | 提出書類を確認後、構成員に年内送付 | 12/15までに評価シート・関係書類提出 | 12/1 現在 |
| 1月 | 構成員に年内評価シート送付→1/15までに市に提出・意見等・要望等集約 | | |
| 2月 | 部会開催 評価・質疑等 | 評価を受ける→指摘事項等改善結果報告書を月末までに提出 | 2/3 実施 |
| 3月 | 定例会で報告 | | |

※二次評価者は、異動等により変更あり

- イ 評価・質疑応答について
資料に添って事業所からの説明・助言
○サンライズ柿浦
○パラレル

(5) 地域連携推進会議について

- ア 社会福祉法人江能福祉会 グループホームオリーブ
日 時：3月11日(水)
参加者：市役所・民生委員・相談支援事業所(社協・江能)・本館・新館から利用者各1名・保護者各1名
- イ 株式会社太陽 サンライズ
日 時：3月予定
参加者：市役所・民生委員・福祉関係者・警察の方・家族
- ウ 株式会社歩歩 共同生活援助パラレル
日 時：3月中
参加者：家族に調整中
- エ 市より

今年度から地域連携推進会議については、義務化された。参加者については、同じ人の参加も考えられる。開催時期については、年度末に集中ではなく余裕をもって開催して頂けると助かります。

4 来年度について

(1) スケジュールについて

精神WGで3回(7月・10月・2月)・拠点WGで2回(10月・2月)・個別支援会議は、必要に応じて実施

(2) 精神等ワーキンググループ

議題について
事例検討について
移動支援について
精神障害者にも対応した地域包括システムの構築について
その他

(3) 地域生活支援拠点グループについて

議題について
地域生活支援拠点整備事業の運用について
グループホームの現状について
日中サービス支援型グループホーム評価について
地域連携推進会議について
その他

令和8年度活動計画

| | |
|------|---|
| 開催回数 | <p>5回【精神WG3回 7月・10月・2月・拠点WG2回 10月・2月】</p> <p>① 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けたWG</p> <p>② 地域生活支援拠点WG</p> <p>③ 個別支援会議【必要に応じて】</p> |
| 構成員 | <p>① 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けたWG 精神障害者家族会・江田島市心身障がい児者家族会・SELP江能保護者会・島の病院おおたに・吉田病院・ホームヘルパーセンター江能・江田島市社協訪問介護事業所・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課・自立支援センターあおぞら・福祉サービス事業所りんりん・株式会社歩歩・パラレル・サンライズ大君・サンライズ柿浦・グループホームオリーブ・保証人代行サービス イマココ・広島県西部保健所呉支所・市保健医療課・江田島市地域包括支援センター・市社会福祉課・江田島市障害者生活支援センター・相談支援事業所ユーカリ・障害者相談支援事業所江能</p> <p>② 地域生活支援拠点WG：地域生活支援拠点委託協力事業所 特別養護老人ホーム江能・倉橋の里・江能福祉会 就労地域生活支援課・ホームヘルパーセンター江能・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課 自立支援センターあおぞら・サンライズ大君・サンライズ柿浦・パラレル・グループホームオリーブ・福祉サービス事業所りんりん・吉田病院・江田島市社会福祉課・江田島市障害者生活支援センター相談支援事業所ユーカリ・障害者相談支援事業所江能</p> <p>③ 個別支援会議：関係機関</p> <p>※議題により、都市整備課・多機関に参加してもらう。</p> |
| 活動計画 | <p>第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の成果目標8項目のうち、①福祉施設入所等から地域生活への移行、②地域生活の充実・④精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築、⑥地域における相談支援体制の充実・強化と部会で位置づけられている「保健・医療・福祉関係者の協議の場」「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた協議の場」「日中サービス支援型グループホーム評価の場」の協議を継続する。</p> <p>(1) 精神ワーキンググループ 事例検討について 移動支援について 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について 今年度の振り返り・来年度に向けて</p> <p>(2) 地域生活支援拠点WG 地域生活支援拠点整備事業の運用状況 日中サービス支援型グループホームの改善・現状および評価・助言について 今年度の振り返り・来年度に向けて</p> <p>(3) 個別支援会議 個別で支援が必要なケースがあれば、その都度、関係機関を招集し会議を実施する。</p> |